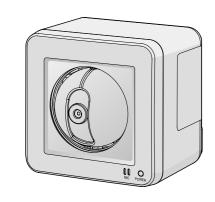
Panasonic®

取扱説明書　基本編

工事説明付き

ネットワークカメラ

品番　BB-SW174W

パナソニック システムネットワークス株式会社

〒153-8687　東京都目黒区下目黒二丁目3番8号

Cs1012-1032　PGQX1097YA

Printed in China

保証書別添付

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- ●取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ●ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。
- ●保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

取扱説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で設置工事されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保障の対象外となります。

主な機能

●屋外設置対応
本機は防水対応をしており、屋外への設置が可能です。（JIS C0920準拠 IP55相当）

●ネットワーク環境で高効率運用ができるトリプルエンコーディング
2つのH.264出力と1つのJPEG出力、計3つの出力が同時に可能です。

●無線LAN機能を搭載（IEEE802.11n/b/g対応）
無線ルーター経由で、カメラ映像のモニターおよび各種設定が可能です。

●適応型暗部補正機能を搭載
照度差がある被写体の暗い部分の黒つぶれを補正します。

●パン・チルト機能&プリセット機能を搭載
1台で広いエリアをモニタリングすることが可能です。

●音声入出力搭載で双方向通信が可能
音声モニタリングに加え、遠隔地に音声を送信できます。

●WPS（Wi-Fi Protected Setup）機能を搭載
無線ルーターの接続設定情報とセキュリティ設定情報を自動的に取得し、WPS機能を設定することが可能です。ボタンを押す（PBC方式）、および8桁の暗証番号の入力（PIN方式）に対応しています。

取扱説明書について

本機の取扱説明書は、本書とカメラを設定する（チラシ）、取扱説明書　操作・設定編（CD-ROM内）の3部構成になっています。
本書では、接続・設置のしかたについて説明しています。また、カメラを設定する（チラシ）では、ネットワークの設定のしかたについて説明しています。
本機の操作や設定のしかたは、付属CD-ROM内の「取扱説明書　操作・設定編」をお読みください。PDFファイルをお読みになるには、アドビシステムズ社のAdobe® Reader®が必要です。

商標および登録商標について

- ● Adobe、Acrobat ReaderおよびAdobe Readerは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ● Microsoft、Windows、Windows Vista、Internet Explorer、ActiveX およびDirectX は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ● iPad、iPhone、iPod touchは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- ● Androidは、Google Inc.の商標または登録商標です。
- ● その他、この説明書に記載されている会社名・商品名は、各会社の商標または登録商標です。

付属品の種類

スタンド　1個　　コネクターカバー　1個　　日よけハウジング　1個　　ねじA　5本

ねじB　4本　　ワッシャー小　1個　　ワッシャー大　1個　　落下防止ワイヤー　1本

自己融着テープ　1個　　防水スポンジ　1個　　電源用端子台　1個　　ACアダプター　1個

ACコード　1本　　延長コード　1本

取扱説明書 基本編（本書）	1冊
カメラを設定する（チラシ）	1枚
保証書	1式
CD-ROM※1	1枚
コードラベル※2	1枚

※1 CD-ROMには各種取扱説明書および各種ツールソフトが納められています。
※2 ネットワーク管理上、必要になる場合があります。ネットワーク管理者が保管してください。

他に必要なもの

【市販品】

- ● パーソナルコンピューター（以下、PC）（設定・画像確認用）
- ● ルーター、または無線ルーター
- ● Ethernetケーブル（カテゴリー5 ストレートケーブル）

必要な PC の環境

必要なPCの仕様や注意については、「カメラを設定する」（チラシ）を参照してください。

著作権について

本機に含まれるソフトウェアの譲渡、コピー、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリング、並びに輸出法令に違反した輸出行為は禁じられています。

免責について

- ● この商品は、特定のエリアを対象に監視を行うための映像を得ることを目的に作られたものです。この商品単独で犯罪などを防止するものではありません。
- ● 弊社はいかなる場合も以下に関して一切の責任を負わないものとします。
  - ① 本機に関連して直接または間接に発生した、偶発的、特殊、または結果的損害・被害
  - ② お客様の誤使用や不注意による障害または本機の破損など
  - ③ お客様による本機の分解、修理または改造が行われた場合、それに起因するかどうかにかかわらず、発生した一切の故障または不具合
  - ④ 本機の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、映像が表示できないことによる不便・損害・被害
  - ⑤ 第三者の機器などと組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害
  - ⑥ お客様による監視映像（記録を含む）が何らかの理由により公となりまたは使用され、その結果、被写体となった個人または団体などによるプライバシー侵害などを理由とするいかなる賠償請求、クレームなど
  - ⑦ 登録した情報内容が何らかの原因により、消失してしまうこと

個人情報の保護について

本機を使用したシステムで撮影された本人が判別できる情報は、「個人情報の保護に関する法律」で定められた「個人情報」に該当します。※
法律に従って、映像情報を適正にお取り扱いください。
※経済産業省の「個人情報の保護に関する法律についての経済産業分野を対象とするガイドライン」における【個人情報に該当する事例】を参照してください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

してはいけない内容です。	
実行しなければならない内容です。	

⚠警告

●工事は販売店に依頼する
工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。
○必ず販売店に依頼してください。

●総質量に耐える場所に取り付ける
落下や転倒によるけがや事故の原因となります。
○十分な強度に補強してから取り付けてください。

●定期的に点検する
金具やねじがさびると、落下によるけがや事故の原因となります。
○点検は、販売店に依頼してください。

●ねじやボルトは指定されたトルクで締め付ける
落下によるけがや事故の原因となります。

●振動のないところに設置する
取付ねじやボルトがゆるみ、落下などでけがの原因となります。

●落下防止対策を施す
落下によるけがや事故の原因となります。
○落下防止ワイヤーを必ず取り付けてください。

●人や物がぶつからない高さに取り付ける
落下などの事故の原因となります。

●電源プラグは根元まで確実に差し込む
差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
○傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

●電源コードは、必ずプラグ本体を持って抜く
コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

●電源プラグのほこりなどは定期的にとる
プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。
○電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

●配線工事は、電気設備技術基準や内線規程に従い安全・確実に行う
誤った配線工事は感電や火災の原因になります。
○ 配線工事は、電気工事士のかたが行ってください。

●電源プラグ、電源コードの接続時は、指定の防水処理を行う
火災・感電の原因になります。

●配線は電源を切ってから行う
感電の原因になります。また、ショートや誤配線により火災の原因となります。

●分解しない、改造しない
火災や感電の原因となります。
○修理や点検は、販売店に連絡してください。

●異物を入れない
水や金属が内部に入ると、火災や感電の原因となります。
○直ちに電源を切り、販売店に連絡してください。

●可燃性ガスの雰囲気中で使用しない
爆発によるけがの原因となります。

●塩害や腐食性ガスが発生する場所に設置しない
取付部が劣化し、落下によるけがや事故の原因となります。

●専用の電源プラグ（極性統一形プラグ）以外は使わない
専用以外の電源プラグを使用すると、電圧や＋－の極性が異なっている場合があるため、火災・感電のおそれがあります。

●コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100 V以外での使用はしない
たこ足配線などで、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

●電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない
（傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを載せる、束ねるなど）
傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。
○コードやプラグの修理は販売店にご相談ください。

●設置・配線工事の際の壁や天井への穴あけや、電源プラグのコードやケーブルを固定する際は、屋内配線・屋内配管を傷つけない
漏電・感電・火災などの原因になります。

●電源プラグ、電源コードを窓やドアなどにはさみ込まない
傷がつくとショートによる火災・感電の原因になります。

●電源コードは他の製品に使用しない
火災・感電の原因になります。

●落とさない、強い衝撃を与えない
けがや火災の原因となります。

●金属のエッジで手をこすらない
強くこするとけがの原因となります。

●雷が鳴りだしたら、本機や接続したケーブルに触れない（工事時を含む）
感電の原因となります。

●ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない
感電の原因になります。

電源プラグを抜く
●煙・異臭・異音が出たり、落下・破損したときはすぐに電源コードのプラグを抜く
そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
○使用を中止し、販売店へご相談ください。

水ぬれ禁止
●機器の上に水などの入った容器を置かない
水などが中に入った場合、火災や感電の原因になります。
○ただちに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。

⚠注意

●お手入れのときは電源を切る
けがの原因となります。

電源プラグを抜く
●長時間使用しないときや、お手入れするときは、必ず電源コードのプラグを抜く
漏電・感電の原因になることがあります。

使用上のお願い

⚠警告　⚠注意　に記載されている内容とともに、以下の項目をお守りください。

本機に電源スイッチはありません
電源を切る場合は、DC12 V電源をOFFにしてください。

長時間安定した性能でお使いいただくために
高温・多湿の場所で長時間使用しないでください。部品の劣化により寿命が短くなります。
設置場所の放熱および暖房などの熱が直接当たらないようにしてください。

レンズカバーに直接触れないでください
レンズカバーが汚れると画質劣化の原因となります。

取り扱いはていねいに
落としたり、強い衝撃または振動を与えたりしないでください。故障の原因となります。

使用するPCについて
PCモニター上に長時間同じ画像を表示すると、モニターに損傷を与える場合があります。スクリーンセーバーの使用をお勧めします。

異常検出時、自動的に再起動を行います
再起動した場合は、電源投入時と同様に約2分間操作ができません。

本機を譲渡・廃棄される場合
本機に記録された情報内容と、本機とともに使用する記憶媒体に記録された情報内容は、「個人情報」に該当する場合があります。本機が廃棄、譲渡、修理などで第三者に渡る場合には、その取り扱いに十分に注意してください。

お手入れは
必ず電源をOFFにした状態で行ってください。本機の汚れは、乾いた柔らかい布でふいてください。 シンナー、ベンジン、ワックス、石油、石けん、みがき粉、熱湯、水、化学ぞうきんなどは使用しないでください。汚れがひどいときは、水にひたした布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた布でふいてください。

画像更新速度について
画像更新速度は、ご利用のネットワーク環境、PC性能、被写体、アクセス数により遅くなることがあります。

コードラベルについて
コードラベル（付属品）は故障時の問い合わせに必要です。紛失しないようにご注意ください。
お客様控えの1枚は、CD-ROMケースに貼り付けてください。

MOSセンサーについて

- ● 画面の一部分にスポット光のような明るい部分があると、MOSセンサー内部の色フィルターが劣化して、その部分が変色することがあります。固定監視の向きを変えた場合など、前の画面にスポット光があると変色して残ります。
- ● 動きの速い被写体を写したとき、画面を横切る物体が斜めに曲がって見えることがあります。

AVC Patent Portfolio License について
本製品は、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、以下に記載する行為に係るお客様の個人的かつ非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。
(i) 画像情報をAVC規格に準拠して（以下、AVCビデオ）記録すること。
(ii) 個人的活動に従事する消費者によって記録されたAVCビデオ、または、ライセンスをうけた提供者から入手したAVCビデオを再生すること。詳細についてはMPEG LA, LLC ホームページ（http://www.mpegla.com）を参照してください。

画面のちらつき（フリッカー）について
照明の影響により、画面のちらつきが発生することがあります。光量制御モードをフリッカレスに設定してください。お住まいの地域の電源周波数に応じて、フリッカレス（50 Hz）とフリッカレス（60 Hz）を選択してください。設定方法については、「取扱説明書　操作・設定編」（CD-ROM内）をお読みください。
フリッカレス設定においても、非常に明るい照明下ではフリッカーが発生する場合があります。また、「明るさ」ボタンで画面を暗く設定するとフリッカーが発生しやすくなります。フリッカーが発生した場合は、以下の方法によりフリッカーが軽減される場合があります。

- ● カメラの向きを変えて被写体の明るさを抑える
- ●「明るさ」ボタンをより明るく設定する

フリッカレス設定の白飛びについて
光量制御モードがフリッカレス設定の場合、画面の明るい部分の階調がELC設定に比べて損なわれる場合があります。

細かい絵柄への色付きについて
画面内に細かい絵柄があると、その部分に色付きが発生する場合があります。

消耗品について
次の部品は消耗品です。寿命回数を目安に交換してください。なお、寿命回数は、使用環境、使用条件により変わります。
寿命回数は+20 ℃にて使用した場合の目安です。

- ● パンモーター、チルトモーター、パン用フラットケーブル：約370万回動作

回転部について
パン・チルト回転部は長時間操作しないと、内部に塗布されたグリースの粘度が高まり、動かなくなることがあります。パン・チルト回転部を定期的に動かしてください。

ネットワークに関するお願い

本機はネットワークへ接続して使用するため、以下のような被害を受けることが考えられます。

① 本機を経由した情報の漏えいや流出
② 悪意を持った第三者による本機の不正操作
③ 悪意を持った第三者による本機の妨害や停止

このような被害を防ぐため、お客様の責任の下、下記のような対策も含め、ネットワークセキュリティ対策を十分に行ってください。

- ● ファイアウォールなどを使用し、安全性の確保されたネットワーク上で本機を使用する。
- ● PCが接続されているシステムで本機を使用する場合、コンピューターウイルスや不正プログラムの感染に対するチェックや駆除が定期的に行われていることを確認する。
- ● 不正な攻撃から守るため、ユーザー名とパスワードを設定し、ログインできるユーザーを制限する。
- ● 画像データ、認証情報（ユーザー名、パスワード）、アラームメール情報、FTPサーバー情報、DDNSサーバー情報などをネットワーク上に漏えいさせないため、ユーザー認証でアクセスを制限するなどの対策を実施する。
- ● 管理者で本機にアクセスしたあとは、必ずすべてのブラウザーを閉じる。
- ● 管理者のパスワードは、定期的に変更する。
- ● 本機、ケーブルなどが容易に破壊されるような場所には設置しない。

無線に関するお願い

電波に関するご注意

本製品は、2.4 GHz帯の周波数を使用する無線機器です。
全帯域を使用しかつ移動体識別装置の帯域を回避可能です。変調方式は、DS-SS方式およびOFDM方式で、想定干渉距離は40 mです。本製品には、それを示すマークが貼付されています。

2.4 DS/OF 4

本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかまたは電波の発射を停止したうえ、お客様ご相談センター（➔「保証とアフターサービス」）にご連絡いただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときには、お客様ご相談センター（➔「保証とアフターサービス」）へお問い合わせください。

無線LAN製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意！お客様の権利（プライバシー保護）に関する重要な事項です

無線LANでは、Ethernetケーブルを使用するかわりに、電波を利用してパソコンなどと無線LANアクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にネットワーク接続が可能であるという利点があります。その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁など）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

■ 通信内容を盗み見られる
悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、
●ID、パスワード、通信画像やEメール
などの通信内容を盗み見られる可能性があります。

■ 不正に侵入される
悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、
●個人情報や機密情報を取り出す（情報漏えい）
●特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
●傍受した通信内容を書き替えて発信する（改ざん）
●コンピューターウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）
などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線LANアダプター、ネットワークカメラやカメラコントロールユニットをはじめとする無線LAN製品（以下、無線LAN製品という）は、これらの問題に対応するためのセキュリティに関する設定が用意されていますので、無線LAN製品のセキュリティに関する設定を行い使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

お客様がセキュリティ問題発生の可能性を少なくするためには、無線LAN製品をご使用になる前に、必ず無線LAN製品のセキュリティに関する設定を取扱説明書に従って行ってください。なお、無線LANの仕様上、特殊な方法によりセキュリティに関する設定が破られることもありえますので、ご理解のうえ、ご使用ください。
セキュリティに関する設定について、お客様ご自分で対処できない場合には、お客様ご相談センターまでお問い合わせください。

当社では、お客様がセキュリティに関する設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解したうえで、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、無線LAN製品を使用することをおすすめします。
セキュリティに関する設定を行わない、あるいは、無線LANの仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社では、これによって生じた損害に対する責任を負いかねます。

上記文掲載URL:
http://panasonic.biz/netsys/netwkcam/support/jeita_info.html

故障かな !?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。
これらの処置をしても直らないときや、この表以外の症状のときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

症　状	原因・対策
電源が入らない	● ACアダプターの電源プラグがACコンセントに確実に接続されていますか？ →接続されているか確認してください。 ● ACアダプターは必ず専用のACアダプター（付属品）を使用してください。

仕様

●基本

電源	ACアダプター　入力：AC１００ V　50 Hz／60 Hz （付属のACアダプター使用）
消費電力	DC12 V：510 mA
使用温度範囲	-20 ℃～+50 ℃
使用湿度範囲	90 %以下（結露しないこと）
調整用モニター出力端子	VBS：1.0 V［p-p］／75 Ω、コンポジット信号、 φ3.5 mmミニジャック
外部I／O端子	アラーム入力1、アラーム入力2／アラーム出力、 アラーム入力3／AUX出力、GND、+12 V
マイク／ライン入力端子	φ3.5 mmモノラルミニジャック 入力インピーダンス：約2.2 kΩ マイク入力時　使用可能マイク：プラグインパワー方式 供給電圧：3.3 V ±0.5 V ライン入力時　入力レベル：約-10 dBV
オーディオ出力端子	φ3.5 mmステレオミニジャック（モノラル出力） 出力インピーダンス：約560 Ω ラインレベル
防塵性・防水性	IP55※ ※本書に定める設置工事が正しく施工され、かつ適切な防水処理が施工された場合のみ
寸法	高さ　100 mm　幅　100 mm 奥行　84 mm　（本体のみ、突起部を除く）
質量	約370 g（本体のみ）
仕上げ	本体　　：PC／ABS樹脂、シルバー色 レンズカバー　：クリアポリカーボネート樹脂

●カメラ部

撮像素子	1／4型 MOSセンサー
有効画素数	約130万画素
走査面積	3.52 mm (H) ×2.64 mm (V)
操作方式	プログレッシブ
最低照度	カラー　0.6 lx (F2.2、オートスローシャッター：Off（1/30 s）、ゲイン：On（High）） 0.038 lx (F2.2、オートスローシャッター：最大16/30 s、ゲイン：On（High））※ 白黒　0.5 lx (F2.2、オートスローシャッター：Off（1/30 s）、ゲイン：On（High）） 0.031 lx (F2.2、オートスローシャッター：最大16/30 s、ゲイン：On（High））※ ※換算値
ワイドダイナミックレンジ	On／Off
顔連動制御	On／Off
ゲイン（AGC）	On（Low）／On（Mid）／On（High）／Off
暗部補正	On／Off
光量制御	フリッカレス（50 Hz／60 Hz）／ELC
ELC（最長露光時間）	1/30、3/100、3/120、2/100、2/120、1/100、1/120、1/250、1/500、1/1000、1/2000、1/4000、1/10000
オートスローシャッター	Off（1/30 s）、最大2/30 s、最大4/30 s、最大6/30 s、最大10/30 s、最大16/30 s
簡易白黒切換	Off／Auto
ホワイトバランス	ATW1／ATW2／AWC
デジタルノイズリダクション	High／Low
画像認識　顔検出	On／Off（XML通知設定あり）
プライバシーゾーン	塗潰し／Off（ゾーン設定　最大2か所）
画面内文字表示	最大20文字（アルファベット、カタカナ、数字、記号） On／Off
動作検知（VMD）	On／Off、4エリア設定可能

●レンズ部

ズーム比	2倍（EXズーム、VGA解像度使用時）
デジタルズーム	8倍（最大16倍　EXズーム、VGA解像度使用時）
焦点距離（ｆ）	1.95 mm
最大口径比（F）	1：2.2
フォーカス範囲	∞ ～ 0.5 m
画角	水平　85 °、垂直　68 °

●回転部

水平回転範囲	－47.5°～+47.5°
水平回転速度	マニュアル：約5 ° /s～80 ° /s、プリセット：約80 ° /s
垂直回転範囲	－45°～+10°
垂直回転速度	マニュアル：約5 ° /s～80 ° /s、プリセット：約80 ° /s
プリセットポジション数	64か所
マップショット	プリセットマップショット
セルフリターン	10秒／20秒／30秒／1分／2分／3分／5分／10分／20分／30分／60分

●無線部

アンテナ	1空間ストリーム（1×1）
ダイバシティ	空間ダイバシティ
伝送方式	SISO（Single Input／Single Output）-OFDM方式、OFDM方式、DSSS方式
無線規格	国内規格 ARIB STD-66準拠 国際規格 IEEE802.11n／IEEE802.11g／IEEE802.11b準拠
周波数範囲/チャンネル（中心周波数）	IEEE802.11n／g／b 2.412 GHz～2.472 GHz（1～13ch）
データ転送速度 ※1	IEEE802.11n: 6.5 ～ 72.2 Mbps IEEE802.11g: 6 ～ 54 Mbps IEEE802.11b: 1 ～ 11 Mbps
アクセス方式	インフラストラクチャー（無線LANアクセスポイント／無線ルーター接続）
認証方式	Open System
セキュリティ ※2	WPA2-PSK（TKIP／AES） WPA-PSK（TKIP／AES） WEP（64 bit／128 bit）
WPS	PBC方式（WPSボタン方式）、PIN方式（PINコード入力方式）

●無線部ハードウェア

LED	Wireless（WPS状態表示）
インターフェース	WIRELESSボタン（WPS PBC起動ボタン）

●ネットワーク部

ネットワーク	10BASE-T／100BASE-TX、RJ45コネクター
画像解像度	アスペクト比：4:3 H.264　1280×960／VGA（640×480）／QVGA（320×240）　最大30 fps JPEG　1280×960／VGA（640×480）／QVGA（320×240）　最大30 fps アスペクト比：16:9 H.264　1280×720／640×360／320×180　最大30 fps JPEG　1280×720／640×360／320×180　最大30 fps
画像圧縮方式 ※3	H.264　画質選択：動き優先／標準／画質優先 配信方式：ユニキャスト／マルチキャスト ビットレート： （固定ビットレート／ベストエフォート配信） 64 kbps／128 kbps／256 kbps／384 kbps／512 kbps／768 kbps／1024 kbps／1536 kbps／2048 kbps／3072 kbps／4096 kbps／8192 kbps （フレームレート指定） 1 fps／3 fps／5 fps／7.5 fps／10 fps／12 fps／15 fps／20 fps／30 fps JPEG　画質選択：0最高画質／1高画質／2／3／4／5標準／6／7／8／9低画質（0～9の10段階） 配信方式：PULL／PUSH
画像更新速度	0.1 fps～30 fps（JPEGとH.264同時動作時のJPEGフレームレートは制限あり）
音声圧縮方式	G.726（ADPCM）32 kbps／16 kbps G.711 64 kbps
配信量制御	制限なし／64 kbps／128 kbps／256 kbps／384 kbps／512 kbps／768 kbps／1024 kbps／2048 kbps／4096 kbps／8192 kbps
対応プロトコル	IPv6：TCP／IP、UDP／IP、HTTP、HTTPS、RTP、FTP、SMTP、DNS、NTP、SNMP、DHCPv6、MLD、ICMP、ARP IPv4：TCP/IP、UDP/IP、HTTP、HTTPS、RTSP、RTP、RTP/RTCP、FTP、SMTP、DHCP、DNS、DDNS、NTP、SNMP、UPnP、IGMP、ICMP、ARP
対応OS ※4　※5	Microsoft Windows 7 日本語版 Microsoft Windows Vista 日本語版 Microsoft Windows XP SP3日本語版
対応ブラウザー	Windows Internet Explorer 9.0 32ビット日本語版 Windows Internet Explorer 8.0 32ビット日本語版 Windows Internet Explorer 7.0 32ビット日本語版 Microsoft Internet Explorer 6.0 SP3日本語版
最大接続数	14（条件による）
FTP クライアント	アラーム画像送信、FTP 定期送信
マルチスクリーン	同時に16台のカメラの画像を表示（自カメラ含む）
携帯電話対応	NTTドコモ、au（KDDI）、SoftBank JPEG画像表示、パン、チルト、EXズーム、AUX制御（アクセスレベルによる）
携帯端末対応（2012年1月現在）※6	iPad、iPhone、iPod touch（iOS 4.2.1以降）、 Android™端末

※1　理論上の速度であり、ご利用環境や接続機器などにより実際の通信速度は異なります。
※2　接続される無線アクセスポイント（無線ルーター）によっては接続できないことがあります。802.11 n 接続をする場合は、セキュリティ設定はWPA-PSK（AES）、 もしくはWPA2-PSK（AES）を選択してください。
※3　同じ圧縮方式でそれぞれ独立に2ストリーム分の配信設定が可能です。
※4　Microsoft Windows 7、Microsoft Windows Vista または、Windows Internet Explorerを使用する場合に必要なPCの環境や注意事項など詳しくは、付属CD-ROMのメニューより「取扱説明書」の「参照」をクリックし、「Windows®／Internet Explorer®のバージョンによる注意事項」をお読みください。
※5　IPv6で通信を行う場合は、Microsoft Windows 7または、Microsoft Windows Vistaを使用してください。
※6　対応機種など詳細については、パナソニックのサポートウェブサイト（http://panasonic.biz/netsys/netwkcam/support/info.html）を参照してください。

●別売り

H.264ユーザーライセンス	BB-HCA8
ネットワークカメラ専用録画ビューアソフト	BB-HNP17

保証とアフターサービス

使いかた・お手入れ・修理などは

■ まず、お買い求め先へ ご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です。

販売店名
電　話　（　　　）　－
お買い上げ日　　　年　　月　　日

修理を依頼されるときは
「故障かな!?」でご確認のあと、直らないときは、まず電源を切って、お買い上げ日と右の内容をご連絡ください。

●製品名	ネットワークカメラ
●品　番	BB-SW174W
●故障の状況	できるだけ具体的に

●保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。
保証期間：お買い上げ日から本体1年間

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※修理料金は次の内容で構成されています。

- **技術料**　診断・修理・調整・点検などの費用
- **部品代**　部品および補助材料代
- **出張料**　技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間　7年
当社は、本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後7年保有しています。

アフターサービスについて、おわかりにならないとき
お買い上げの販売店または保証書表面に記載されています連絡先へお問い合わせください。

■ 高所設置製品に関するお願い

安全にお使いいただくために、１年に１回をめやすに、販売店または施工業者による点検をおすすめします。
本機を高所に設置してお使いの場合、落下によるけがや事故を未然に防止するため、下記のような状態ではないか、日常的に確認してください。
特に10年を超えてお使いの場合は、定期的な点検回数を増やすとともに買い換えの検討をお願いします。詳しくは、販売店または施工業者に相談してください。

このような状態ではありませんか？		直ちに使用を中止してください
● 本機を使用せずに放置している。	▶	事故防止のため、必ず販売店または施工業者に**撤去**を依頼してください。
● 取付ねじがゆるんだり、抜けたりしている。 ● 取付部がぐらぐらしたり、傾いたりしている。 ● 本機および取付部に破損や著しいさびがある。	▶	事故防止のため、必ず販売店または施工業者に**点検**を依頼してください。

■ 長期間使用に関するお願い

安全にお使いいただくために、販売店または施工業者による定期的な点検をお願いします。
本機を長年お使いの場合、外観上は異常がなくても、使用環境によっては部品が劣化している可能性があり、故障したり、事故につながることもあります。
下記のような状態ではないか、日常的に確認してください。
特に10年を超えてお使いの場合は、定期的な点検回数を増やすとともに買い換えの検討をお願いします。詳しくは、販売店または施工業者に相談してください。

このような状態ではありませんか？		直ちに使用を中止してください
● 煙が出たり、こげくさいにおいや異常な音がする。 ● 製品に触るとビリビリと電気を感じる。 ● 電源を入れても、映像や音※が出てこない。 ● その他の異常・故障がある。	▶	故障や事故防止のため、**電源を切り**、必ず販売店または施工業者に**点検**や**撤去**を依頼してください。

※：音声対応していないモデルもあります。

本製品は、外国為替及び外国貿易法に定める規制対象貨物（または技術）に該当します。本製品を日本国外へ輸出する（技術の提供を含む）場合は、同法に基づく輸出許可など必要な手続きをおとりください。

■使いかた・お手入れ・修理などは、まず、お買い求め先へご相談ください。

■その他ご不明な点は下記へご相談ください。

パナソニック　システムお客様ご相談センター

電話　フリーダイヤル　**0120-878-410**（パナハ ヨイワ）　受付：9時～17時30分（土・日・祝祭日は受付のみ）
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

ホームページからのお問い合わせは　https://sec.panasonic.biz/solution/info/

ご使用の回線（IP 電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】
パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

1 取り付け位置を確認する

設置上のお願い

カメラの取付場所について
- 取付場所は丈夫な壁面や天井面などをよく選んで設置してください。
- あらゆる方向からの直射日光や風雨が当たるような場所への設置は避けて、建物の外壁などに設置してください。

以下のような場所での設置および使用はできません
- プールなど薬剤を使用する場所
- 湿気やほこり、蒸気や油分の多い場所
- 溶剤および可燃性雰囲気などの特殊環境の場所
- 放射線やＸ線および強力な電波や磁気の発生する場所
- 海上や海岸通り、および腐食性ガスが発生する場所
- 使用周囲温度（−20 ℃～＋50 ℃）を越える場所
- 車両や船舶などの振動が多い場所（本機は車載用ではありません）
- エアコンの吹き出し口近くや外気の入り込む扉付近など、急激に温度が変化する場所（レンズカバーが曇ったり、結露したりする場合があります）

使用しない場合は放置せず、必ず撤去してください。

設置作業の前に
- 本機を木製天井や壁面に取り付ける場合は、付属のねじBを使用してください。木製部以外に取り付ける場合は、取付場所の材質や構造、総質量を考慮して別途ねじをご用意ください。
- 設置する面および使用するアンカーやねじは、十分な強度を確保してください。
- 石こうボードや木部は、強度が弱いので取り付けないでください。やむを得ず取り付ける場合は、十分な補強を施してください。

カメラの電源が入／切できるように電源工事をしてください
本機には電源スイッチがありませんので、電源工事の際は、カメラの電源を入／切できるように設置してください。

ネットワーク接続について
ネットワークケーブルでネットワークに接続する場合は、ネットワークが雷の影響を受けないように配線設置してください。

取付ねじの締め付けについて
- ねじやボルトは、取り付け場所の材質や構造物に合わせて、しっかりと締め付けてください。
- インパクトドライバーは使用しないでください。ねじの破損や締めすぎの原因となります。
- ねじはまっすぐ締めてください。締めたあとは、目視にて、がたつきがなく、しっかりと締められていることを確認してください。

木製部用途以外の取付ねじは別途ご用意ください
本機に付属のねじ（ねじB）は木製部専用の取付ねじです。
取付場所のねじ引抜強度は、1本あたり294 N｛30 kgf｝以上必要です。

カメラ本体内部のねじは外さない（ゆるめない）でください
カメラ本体内部のねじをゆるめると、故障や落下事故の原因となります。

電波障害について
テレビやラジオの送信アンテナ、強い電界や磁界（モーターやトランス、電力線など）の近くでは、映像がゆがんだり、雑音が入ったりすることがあります。

ルーターについて
本機をインターネットに接続する場合で、ルーターを使用するときは、ポートフォワーディング機能（NAT、IPマスカレード）付きのブロードバンドルーターを使用してください。
ポートフォワーディング機能の概要については、「取扱説明書　操作・設定編」（CD-ROM内）をお読みください。本機を無線接続する場合、無線暗号化設定は、暗号化強度が高いWPA2-PSK(AES)かWPA-PSK(AES)を設定することをお勧めします。

時刻設定について
本機は運用開始前に時刻の設定が必要です。時刻の設定については、「取扱説明書　操作・設定編」（CD-ROM内）をお読みください。

カメラの取り付け位置を決める

重要
板、石こうボードは強度が弱いため、取り付けには不向きです。どうしても設置したいときは、十分に補強してください。

重要
強い光源の近くには設置しないでください。

重要
不安定な場所には設置しないでください。

重要
熱源の近くには設置しないでください。

重要
強い電波を発信する製品のそばには設置しないでください。

重要
湿気、煙がかかる位置には設置しないでください。

- 無線接続をご利用になる場合は、取り付ける前に無線ルーターとの無線設定を事前に行ってください。
- 取り付け位置から無線ルーターに無線接続できるか、事前にご確認ください。詳しくは「3 カメラを接続する」を参照してください。

ケーブルの通り方を決める

ケーブルを天井や壁の中を通すときには、ケーブル用の穴（φ25 mm）をあける必要があります。

取り付け方を決める

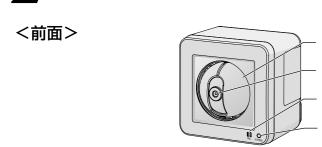
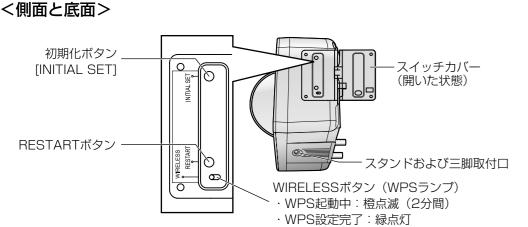
■天井または壁に取り付ける
カメラの自重で落ちることのないように、厚さが25 mm 以上ある木材の部分または梁があるところを選んでください。厚さが25 mm 以上ないまたは梁がない場合は、天井または壁の裏側に当板を使うなどしてください。

天井または壁の材質がモルタルやコンクリートのとき
設置したい位置が決まったら、市販のドリルと天井または壁取り付け専用のアンカー（ねじの呼び径 4.0 mm）を用意し、以下の手順を参考に穴をあけてください。
1. スタンドを設置したい位置に合わせてねじ穴（3か所）と落下防止ワイヤーの取り付け位置に印をつけます。
2. 印に合わせてドリルで穴をあけ、アンカーを差し込み、ソフトハンマーなどで軽くたたきます。
3. カメラを取付けたスタンドをねじで固定します。

■三脚に取り付ける
一般的なカメラで使う三脚（市販品）に取り付けることもできます。

2 各部の名前

<前面>

<側面と底面>

<背面>

スタンド取付口
DC12 V電源接続端子/調整用モニター出力端子/外部I/O端子コード用ケーブルフック
オーディオ出力端子/マイク/ライン入力端子用ケーブルフック
ネットワーク端子[10BASE-T/100BASE-TX]
マイク／ライン入力端子[MIC/LINE IN]
オーディオ出力端子[AUDIO OUT]
調整用モニター出力端子[MONITOR OUT]
外部I／O端子[EXT I/O]
DC12 V電源接続端子[POWER]

外部I／O端子の説明

ピン	機能
6	DC電源出力 ・電源出力電圧12 V ・電源出力電流100 mA
5	GND
4	GND
3	外部I/O端子3（ALARM IN3/AUX OUT）
2	外部I/O端子2（ALARM IN2/ALARM OUT）
1	外部I/O端子1（ALARM IN1）

初期化ボタンについて
本機の電源を切り、初期化ボタンを押しながら本機の電源を入れてそのまま初期化ボタンを5秒間押し続けてください。本機が起動して、ネットワーク設定データを含む設定が初期化されます。状態表示ランプの点滅（橙）が消灯したら、初期化終了です。必要に応じて事前に設定データをメモなどに書き写しておくことをお勧めします。ただし、プリセットポジションの内容、HTTPSで使用するCRT鍵は初期化されません。

重要
- 初期化中は電源を切らないでください。正しく初期化されない場合や故障の原因になる場合があります。

RESTARTボタンについて
電源が入っている状態で、RESTARTボタンを押してカメラを再起動することができます。先の細長い棒状のもので、RESTARTボタンをゆっくりと約1秒間押し続けてください。カメラがパン／チルトの初期動作をすると再起動は完了です。

状態表示ランプとWIRELESSボタン（WPSランプ）について
状態表示ランプとWIRELESSボタン（WPSランプ）の詳細については、「取扱説明書　操作・設定編」（CD-ROM内）の「基本設定を行う［基本］」をお読みください。

3 カメラを接続する

Ethernetケーブルを使用して接続する場合

あらかじめ、PCはルーターを通じて、インターネットに接続できる状態にしておきます。

状態表示ランプ
Ethernetケーブル（市販品）
DC12 V電源接続端子
延長コード（付属品）
ルーター（市販品）
インターネット
モデム
コンセントへ（AC100 V）
ACコード（付属品）
ACアダプター（付属品）
ACアダプターのプラグ
延長コード
PC（設定・画像表示用）（市販品）

1 **Ethernetケーブル（市販品）をカメラのネットワーク端子とルーターのLANジャックに接続する**
無線で接続する場合は、Ethernetケーブルをネットワーク端子に差し込まないでください。詳しくは「無線LANを使用して接続する場合」を参照してください。

2 **延長コードの先端に電源用端子台（付属品）を接続する**
接続方法については「電源用端子台を接続する」を参照してください。

3 **延長コードとACアダプターのプラグを接続する**
延長コードのジャック側にACアダプターのプラグを、根元までしっかり差し込みます。

4 **電源用端子台を本体後面のDC12 V電源接続端子に差し込む**

5 **ACアダプター（付属品）とACコード（付属品）を接続して、ACコードのプラグをコンセントに差し込む**
カメラの電源が入り、カメラレンズが動きます（動作音が聞こえます）。ネットワーク設定が完了したら状態表示ランプが緑点滅から緑点灯に変わります。

カメラの接続が完了した後は、「カメラを設定する」（チラシ）を参照してカメラの設定を行ってください。

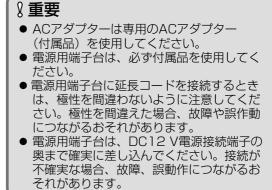
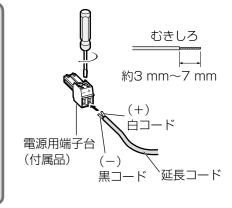
電源用端子台を接続する

1 **電源用端子台（付属品）のねじをゆるめる**

2 **電源用端子台に出力ケーブルを接続する**
出力ケーブルの外皮を3 mm～7 mm切断し、ショートなどしないように、芯線をよくよじってください。
※ 外皮を切断したしん線が電源用端子台から露出せず、確実に接続されていることを確認してください。

3 **電源用端子台のねじを締める**

重要
- ACアダプターは専用のACアダプター（付属品）を使用してください。
- 電源用端子台は、必ず付属品を使用してください。
- 電源用端子台に延長コードを接続するときは、極性を間違わないように注意してください。極性を間違えた場合、故障や誤作動につながるおそれがあります。
- 電源用端子台は、DC12 V電源接続端子の奥まで確実に差し込んでください。接続が不確実な場合、故障、誤動作につながるおそれがあります。

⚠ 警告

- **ACアダプター、ACコード、延長コードをぬらさない**（ACアダプター、ACコードは防水構造ではありません。）
発火・感電の原因になります。
○ぬらした場合は手を触れず、販売店へご相談ください。

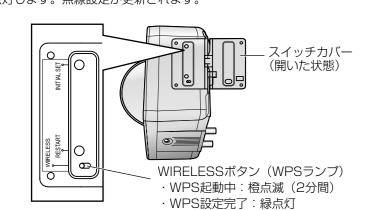
水ぬれ禁止

無線LANを使用して接続する場合

本機のWIRELESSボタン（WPSランプ）を使って、無線の自動設定を行います。

1 **本機の無線機能を有効にするために、Ethernetケーブルを本機に接続せずに電源を入れる**
カメラがパン／チルトの初期動作を行ったあと、状態表示ランプが橙点滅から橙点灯になり、電源投入後約90秒で状態表示ランプが橙点灯し、本機が無線LANモードで起動します。

2 **無線ルーターの取扱説明書を参照し、WPS機能（PBC方式）をONにする**

3 **本機のWIRELESSボタンが橙点滅するまでWIRELESSボタンを約1秒以上押す**
- 本機と無線ルーターが無線の自動設定を開始し、最大約２分間動作します。
- 無線の自動設定が成功すると、WIRELESSボタンが橙点滅から緑点灯し、約5秒後に再起動します。
- 再起動中、WIRELESSボタンは消灯し、約90秒後に無線接続が完了すると再度緑点灯します。無線設定が更新されます。

メモ
- 本機のWIRELESSボタンの点滅から約2分間経過しても無線ルーターとの接続が完了しなかった場合は、WIRELESSボタンが約10秒間赤点滅したあと消灯します。
この場合、無線設定は失敗しています。 無線ルーターの設定や接続手順を確認し、再度実施してください。
- WPSの自動設定に失敗する場合は、無線ルーターと本機の設定を確認してください。
- WIRELESSボタンと状態表示ランプの緑点灯を消灯したい場合は、「設定メニュー」の「基本」ページの「ランプ表示」を［消灯］に設定してください。

重要
- 無線ルーターがSharedKey認証方式に設定されているとWPS機能は使用できません。
- 無線ルーター等でESS-IDステルス機能（SSIDの隠蔽）を使用する設定にしている場合、WPS機能での設定はできません。
- 「WPS設定」での設定中は、無線ルーターにおいて他の無線接続が一旦切断されることがあります。
- 無線ルーターで、MACアドレスフィルタリングを使用する設定になっている場合、「WPS設定」での設定ができないことがあります。無線ルーターの設定を確認してください。
- 無線ルーター等では、接続する無線LAN端末がない状態で「WPS設定」を行った場合、2分間で自動的にキャンセルされます。（ご使用の無線ルーターを確認してください。）
- 同一ネットワーク上に複数のWPS-ON状態の無線ルーター（Registrar）がある場合、WPSの自動設定が失敗することがあります。

カメラの接続が完了した後は、「カメラを設定する」（チラシ）を参照してカメラの設定を行ってください。

- 無線の接続状態を「設定メニュー」の「無線」ページの「ステータス」画面で確認してください。

無線通信の使用範囲について

次のような機器と同時に本製品を使用しないでください
（電波が混信したり、誤動作の原因になります。）
- 特定無線局や移動通信機器のある屋内
- 電子レンジの近くや、Bluetooth機器の近く
- 盗難防止装置やPOSシステムなど2.4 GHz 周波数帯域を利用している機器のある屋内

本製品と無線機器の間に次のような障害物があるときは設置場所を変更してください
（電波を通しにくい物質が周囲にあると、通信ができなかったり通信速度が遅くなる場合があります。）
（電波を反射する物体が周囲にあると、反射した電波との干渉で通信ができなかったり通信速度が遅くなる場合があります。）
- 金属性のドアや雨戸、シャッター
- アルミはく入りの断熱材が入った壁
- コンクリート、石、レンガなどの壁
- 壁を何枚もへだてたところ
- トタン製の壁
- スチール棚
- 防火ガラス

金属製のドア
鉄筋コンクリート

外部I/O端子

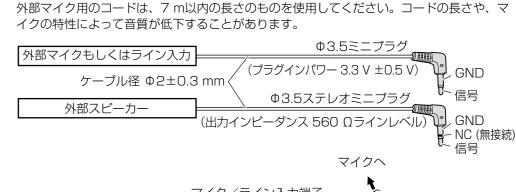
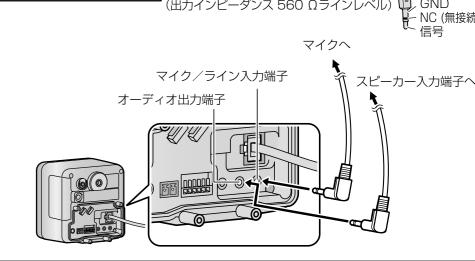
外部機器を接続します。ケーブルの外皮を9 mm～10 mm切断し、ショートなどがないように芯線をよくよじってから接続してください。
- 線材仕様：22 AWG～28 AWG
単線・より線

むきしろ
約9 mm～10 mm

重要
- 1つの端子に2本以上の線を接続しないでください。2本以上接続する必要がある場合は、本機外部で線を分岐させ、接続してください。
- 外部I/O端子2と外部I/O端子3は、入力端子／出力端子に切り換えることができます。外部I/O端子2、3（アラーム2、3）の設定（OFF／アラーム入力／アラーム出力またはAUX出力（外部出力））については「取扱説明書　操作・設定編」（CD-ROM内）をお読みください。
- お買い上げ時、外部I/O端子は「OFF」に設定されています。「OFF」設定時は入力設定と同様に外部機器を接続できます。
- 外部I/O端子を出力端子として使用する場合は、外部からの信号と衝突しないように注意してください。

<定格>
- アラーム入力1、アラーム入力2、アラーム入力3
入力仕様：無電圧メイク接点入力（DC4 V～5 Vプルアップ内蔵）
OFF　：オープンまたはDC4 V～5 V
ON　：GNDとのメイク接点（必要ドライブ電流1 mA以上）
- アラーム出力、AUX出力
出力仕様：オープンコレクタ出力（外部からの最大印加電圧DC20 V）
OPEN　：内部プルアップによるDC4 V～5 V
CLOSE　：出力電圧DC1 V以下（最大ドライブ電流50 mA）

マイク／ライン入力端子・オーディオ出力端子

カメラに外部マイクやスピーカー（いずれも市販品）を接続して、音声を受話･送話できます。外部マイク用のコードは、7 m以内の長さのものを使用してください。コードの長さや、マイクの特性によって音質が低下することがあります。

調整用モニター出力端子

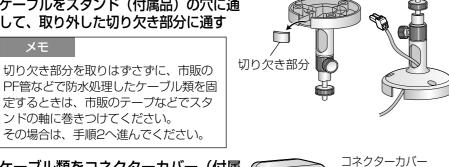
Φ3.5 mmのミニプラグ（モノラル）を接続します（出画確認を行う場合のみ）。
- 推奨プラグ形状：L字型

重要
- 調整用モニター出力は、設置時やサービス時にビデオ受像機で画角などを確認することを目的にしたものです。録画および監視目的には使用できません。
- 映像の上下左右に黒帯が見える場合があります（画角は変わらないため調整に支障はありません）。

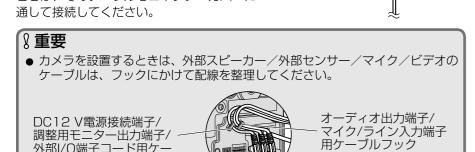
4 カメラを設置する

カメラを設置する前に、カメラの設定が完了していることを確認してください。「カメラを設定する」（チラシ）を参照してください。

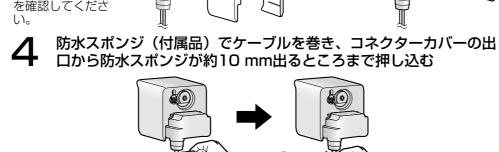
1 **ケーブルをスタンド（付属品）の穴に通して、取り外した切り欠き部分に通す**

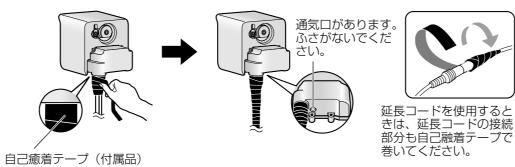
メモ
切り欠き部分を取りはずさずに、市販のPF管などで防水処理したケーブル類を固定するときは、市販のテープなどでスタンドの軸に巻きつけてください。
その場合は、手順2へ進んでください。

2 **ケーブル類をコネクターカバー（付属品）に通して接続し、ねじA（付属品）でコネクターカバーを取り付ける**
コネクターカバーの推奨締付トルク：0.6 N・m (6.1 kgf・cm)
I/Oコネクターやスピーカー、マイクを使うときは、そのケーブルもコネクターカバーに通して接続してください。

コネクターカバー（付属品）
ねじA（付属品）
ねじ穴

重要
- カメラを設置するときは、外部スピーカー／外部センサー／マイク／ビデオのケーブルは、フックにかけて配線を整理してください。

3 **カメラにねじAで日よけハウジング（付属品）を取り付ける**
日よけハウジングの推奨締付トルク：0.6 N・m (6.1 kgf・cm)

日よけハウジングを取り付ける前に、カメラ側面のスイッチカバーが確実に取り付けられていることを確認してください。
日よけハウジング（付属品）
ねじA

4 **防水スポンジ（付属品）でケーブルを巻き、コネクターカバーの出口から防水スポンジが約10 mm出るところまで押し込む**

メモ
屋外で使用するときは、防水スポンジを必ず使用してください。防水スポンジを使用しない場合、雨などが隙間から内部へ浸透し、本体が故障することがあります。

5 **自己融着テープ（付属品）でコネクターカバーの出口から約20 cmの長さまでケーブルを巻く**
防水スポンジの部分は特にしっかりと（3～4回）巻いてください。ケーブルを巻くときは、テープを2倍の長さまで引き伸ばして、重ねて巻いてください。三脚に取り付けるときは、三脚の高さに合わせて適当な長さまでケーブルを巻いてください。

天井または壁に取り付ける

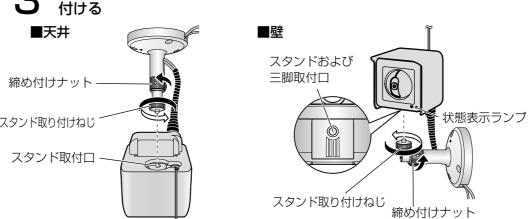
実際にPC画面に表示された画像を確認しながら、カメラの適切な設置場所・向きを調整してください。

メモ
状態表示ランプが右下になるように設置してください。

1 **スタンドの底を天井または壁にあて、スタンドを固定する場所を決める**
カメラの自重で落ちることのないように、厚さが25 mm以上ある木材の部分または梁があるところを選んでください。厚さが25 mm以上ないまたは梁がない場合は、天井または壁の裏側に当板を使うなどしてください。

厚さ25 mm以上
木材

2 **カメラにねじAとワッシャー小（付属品）で落下防止ワイヤー（付属品）を取り付ける**

3 **締め付けナットをゆるめて、スタンド取り付けねじでカメラを取り付ける**

※ カメラ背面のスタンド取付口に取り付けることもできます。

4 **天井または壁にねじB（付属品）でスタンドを取り付ける**
壁にスタンドを取り付ける場合は、▲印が上にくるようにしてください。

■天井
ねじB（付属品）
■壁
165 mm以上
▲印
▲印を上にする
ねじB
天井より165 mm以上離してください。
（カメラが天井に当たり、取り付けできません。）

5 **カメラの向き・角度を調整して、スタンドの締め付けナット、固定ねじで確実に固定する**
固定ねじはカメラの向き、角度によって締め付け位置の変更が可能です。

◌：ケーブルに自己融着テープが巻かれている部分がスタンドの外に出ていて、PF管など（市販品）の中に入っていることを確認してください。

6 **落下防止ワイヤーの長さをたるみのない状態に調節し、ねじBとワッシャー大（付属品）で天井または壁に取り付ける**
万一、本製品が外れた場合でも、周囲の人に当たらないように落下防止ワイヤーを取り付けてください。